



あおやま やまと 青山 大人 62号 県議会報告かわら版

発行：民主党茨城県議団
所在地：〒300-0815
土浦市中高津 1-21-3
村山ビル 2F
TEL：029-828-7011
FAX：029-828-7012
メール：info@aoyamayamato.net

県いじめ再調査委員会 設置条例案などを可決

茨城県議会が6月17日に閉会しました。議会では、「県いじめ再調査委員会」設置条例案や山口副知事の再任人事案などを可決。青山は土木企業委員会で以下4点を質問しました。

①平成25年度、平成24年度の公共事業の月別発注件数の推移を示しながら、8・9月が突出しているなど、極端な偏在が見られることから、工事発注について、早期執行も重要であるが、一年を通してある程度の平準化を求めることを示しました。

②新治地区つくばは市中
県議会土木委員会にて県道藤沢荒川沖線バイパス約2.3km区間の進捗状況を視察。これが開通すれば新治地区の国道125号からつくば市中心部の東大通りまでの所用時間がかなり短縮されます。



県議会土木委員会にて県道藤沢荒川沖線バイパス約2.3km区間の進捗状況を視察。これが開通すれば新治地区の国道125号からつくば市中心部の東大通りまでの所用時間がかなり短縮されます。

③神立駅西口地区の土地区画整理事業について、国からの交付金内示率が土浦市からの要望に比べ著しく低い。ため、予算確保のため県から国への働きかけを要望しました。

日常活動のひとコマ



常磐線を一本でも多く東京駅に！

◀来年3月に東北縦貫線（上野東京ライン）が開通する予定です。これにより、常磐線が東京駅に直通で乗り入れることとなります。ただし、高崎線と宇都宮線と競合するため、何本の常磐線が東京駅まで乗り入れるかについてはまだわかりません。朝のラッシュ時は3線合計で1時間に約40本もの列車が上野に到着します。さまざまな制約からこの中から26本だけが東京駅に乗り入れることができるようです。一本でも多く乗り入れ実現のために、JR東日本本社へ我が党所属の議員約10名で要望活動をしました。

大学受験の予備校にて世界史の講師を務める

◀あるご縁から昨年3月以来高校3年生に世界史を教えております。実際に子どもたちに教えることで多くのことを学べます。この経験を教育行政など政策立案へと活かします。



土木企業委員会での質問の様子

あおやま やまと 青山 大人 略歴

◆1979年土浦市生まれ。現在35歳。
荒川沖小、土浦三中（陸上部主将）、土浦一高、慶應義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選（当時、全国最年少の都道府県議会議員）。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。現在、県議会土木委員会委員、予算特別委員会委員、土浦市消防団第27分団員（土浦市操法大会へ4度出場）。
[HP] <http://www.aoyamayamato.net>
[Facebook] <https://www.facebook.com/aoyamayamato>

多くの皆さまのご支援により頂いたこの役目を 責任を持って果たし、次の世代、未来の茨城へ繋ぎます。

これまでの2期8年間、議会内外の活動・取り組みの結果や進行状況を皆さま方にお伝えするべく「議会報告かわら版」を随時作成し、通勤通学時間帯のJR常磐線神立、土浦、荒川沖の各駅で配布したり、市内でポスティングしています。おかげ様で「議会報告かわら版」も60号を超えました。この他にも「議会報告かわら版FAX通信」やFacebook、ブログなどのインターネットも活用し、青山の考えや活動を継続的に伝えることで皆さまへの説明責任を果たすべく努めております。

また最近、大学受験の某予備校にて高校三年生に世界史を教えております。将来を担う子供たちを育てるとともに、政治家として歴史を学ぶことの重要性を改めて実感しております。

成長 支援 教育 国際

【重点政策】3期目に向けた新たな決意。青山が目指すのは正に「みんなが活躍できる県づくり」

成長

- ◆ 保健・医療・介護・福祉・就労まで視野に入れた総合的な「まちづくり」の取り組み
- ◆ オープンデータの民間活用の推進
- ◆ 金融・経営・財務など中小企業へのきめ細やかな支援
- ◆ 早期からの生活習慣病予防の取り組み
- ◆ 茨城県の魅力を伝える情報発信力の強化
- ◆ さらなる農業の成長発展のための農地整備
- ◆ ベンチャー企業育成のために基金のさらなる活用
- ◆ 新しい公共を担うNPOへの支援推進

支援

- ◆ 社会全体で子育て支援の機運を高める取り組み
- ◆ 通学路の整備・危険箇所の改善
- ◆ 健康の寿命伸ばすための取り組み
- ◆ 在宅療養の推進のため医療介護体制の整備
- ◆ 児童相談所の機能強化
- ◆ 食物アレルギー対応マニュアルの策定
- ◆ 保育士増員への取り組み
- ◆ 交通事故状況が一目でわかる情報整備
- ◆ 犬や猫の殺処分減少への取り組み強化

教育

- ◆ 少人数教育を中学校卒業まで拡大
- ◆ ひとり親家庭の子どもの学習支援
- ◆ 職業観を育てるような教育
- ◆ 発達障害を持つ子どもたちへの早期支援

国際

- ◆ 「セーフコミュニティ」認証取得の推進
- ◆ 県内企業の海外進出促進
- ◆ 農産物の輸出拡大への取り組み
- ◆ 世界の変化に対応できるような国際教育の推進

